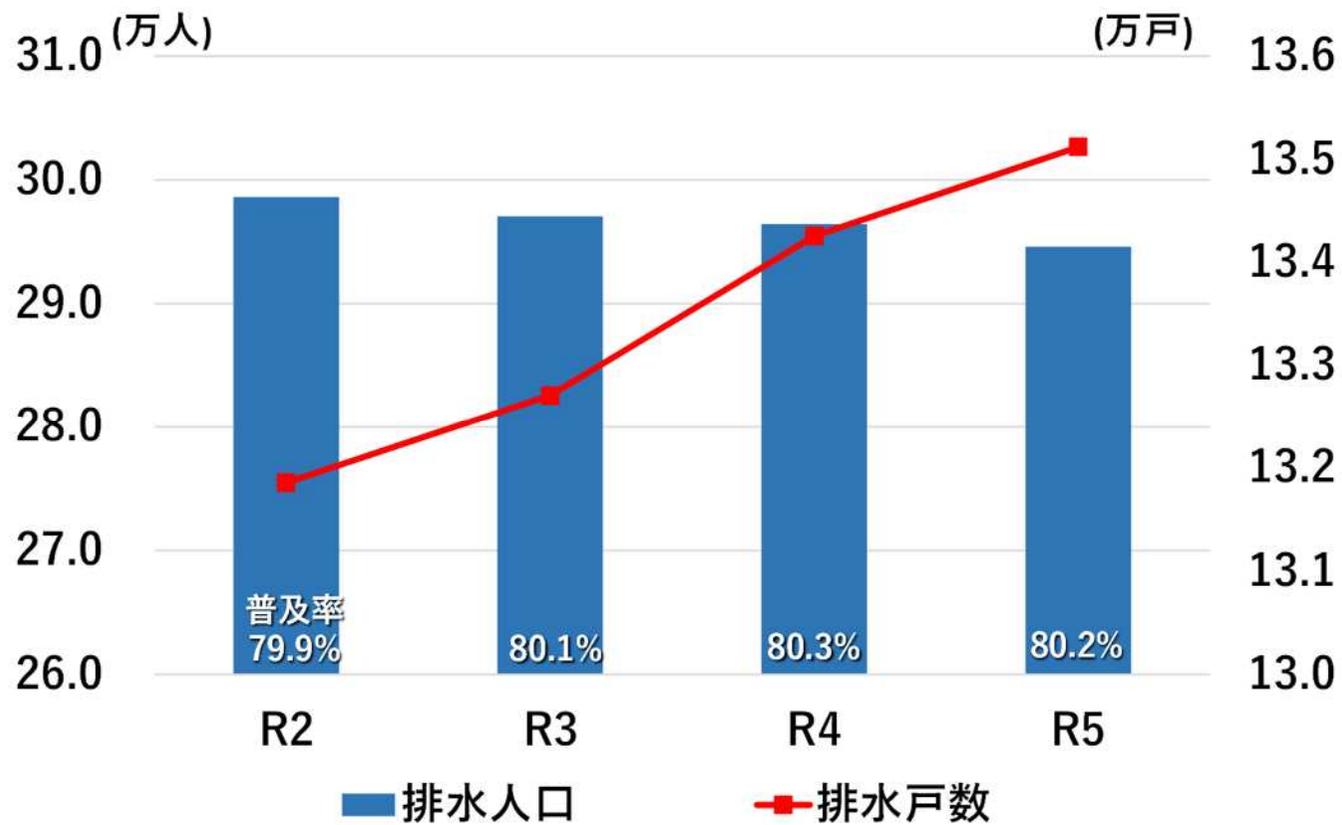


豊橋市の現状について

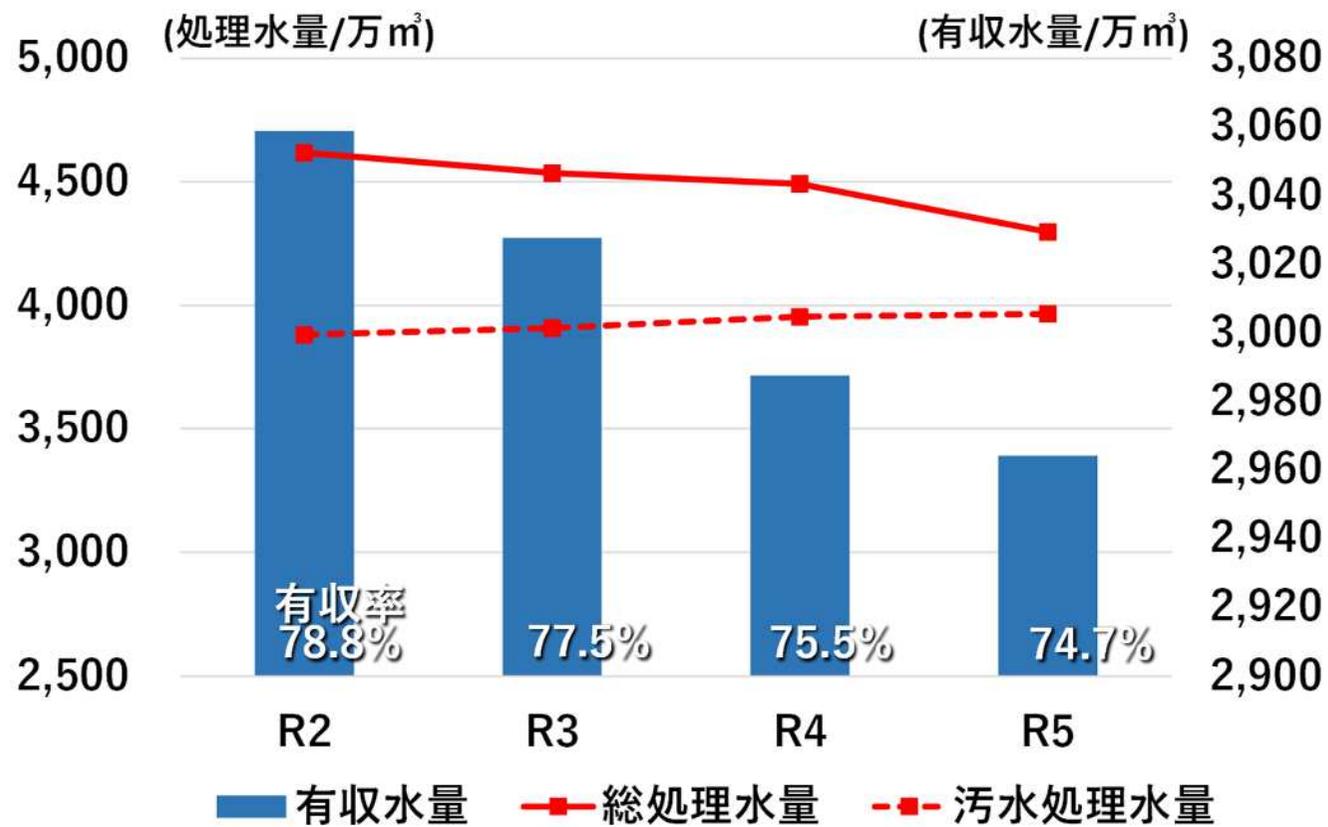
下水道事業者向けアンケート調査（豊橋市ウォーターPPP導入可能性基礎調査業務）
2024年12月2日～12月20日

国土交通省の資料の出典ページ数は、
「下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン第1.2版」におけるページ数。

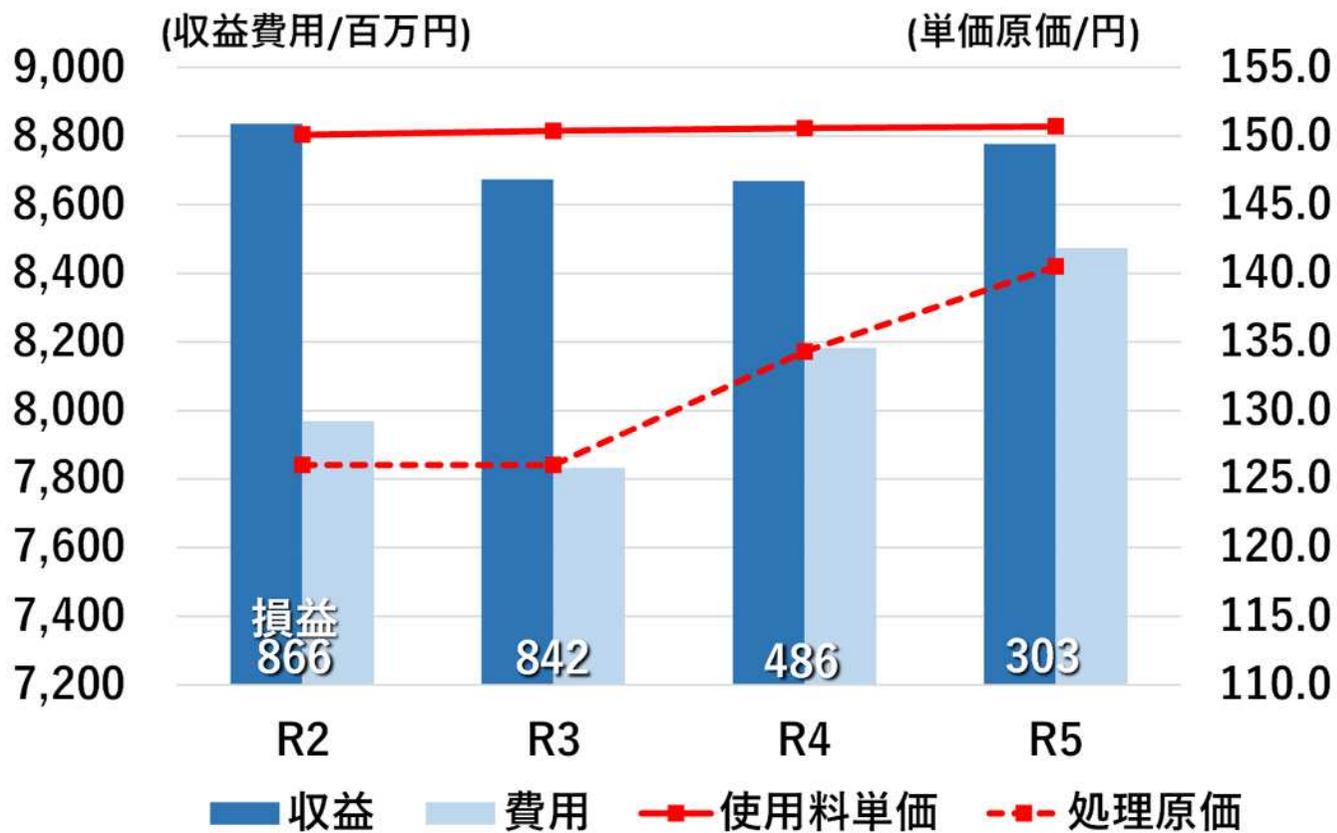
人口/户数



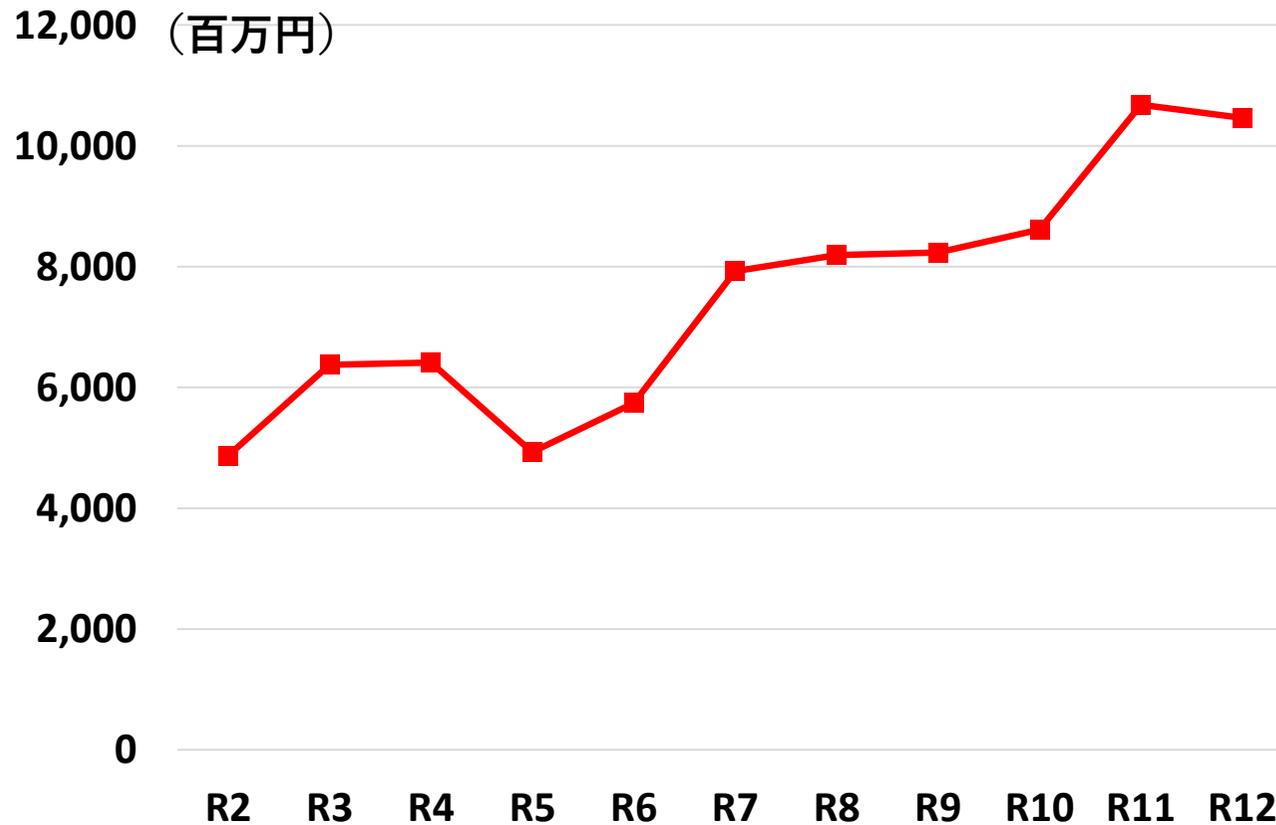
水量



財政



建設改良費の推移



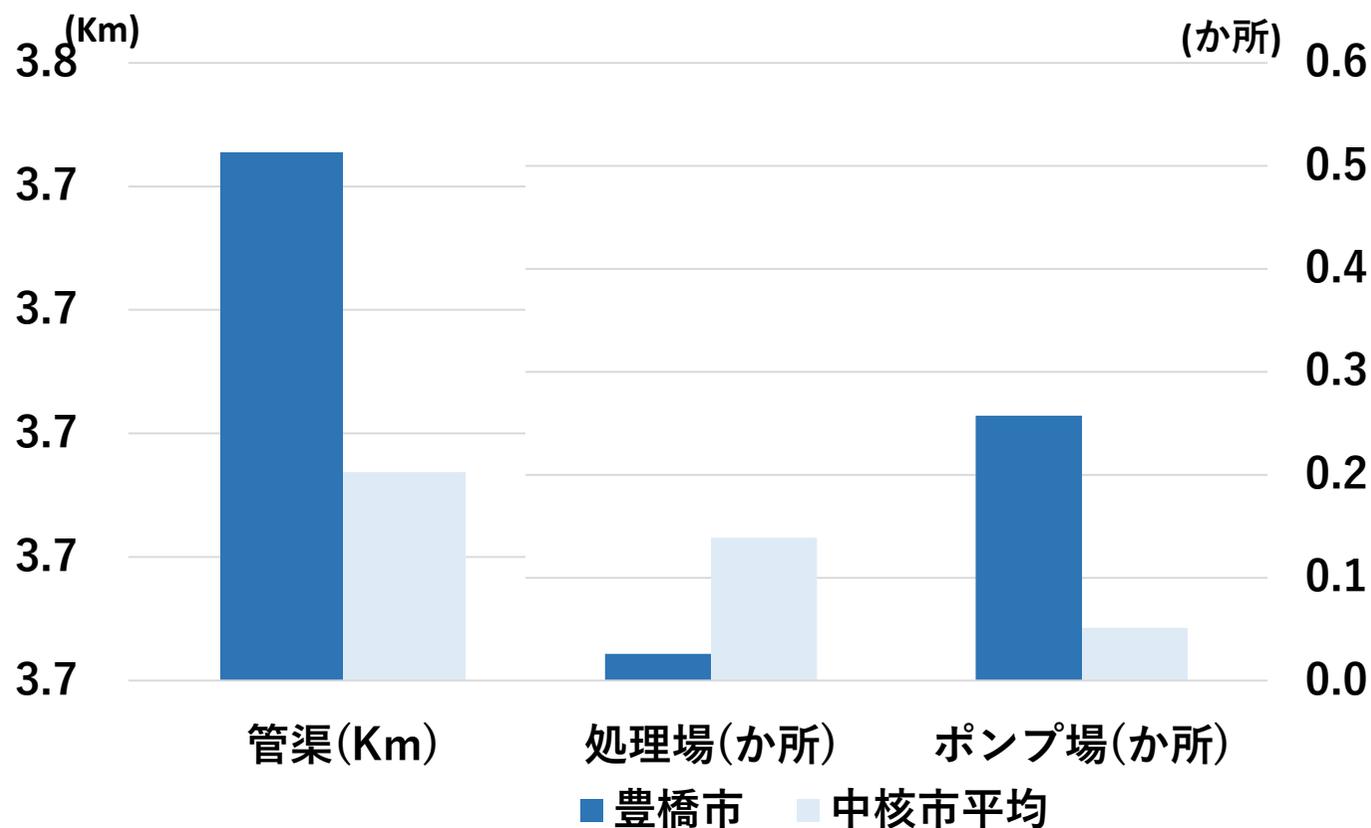
- R2～R5は決算、R6は予算、R7以降は「豊橋市上下水道ビジョン2021-2030」より

処理区および施設

事業	処理区	処理面積 (ha)	管路延長 (km)	ポンプ場 (箇所)	MP (箇所)	処理場 (箇所)
公共下水道	中島	3452.5	1090.6		24	1
	富士見台	108.1	48.6	3		1
	流域関連	1230.3	257.4	4	4	
特環	3処理区	180	84.1		45	3
農集	6処理区	403	101.4		46	6
し尿	4処理区	102.7	25.2		4	4

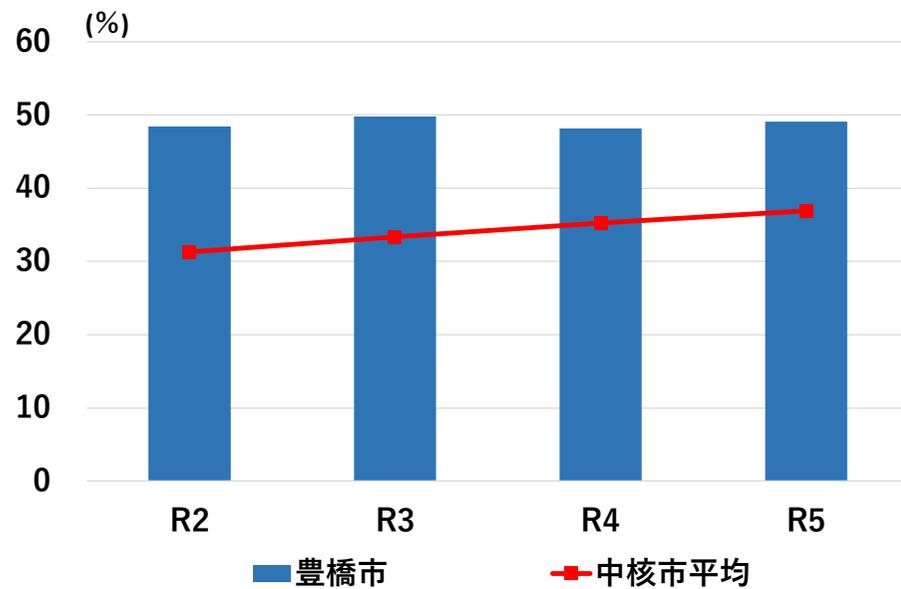
- ポンプ場はMP（マンホールポンプ場）を除く。
- 詳細は「調査案内」を参照
- どの処理場においても現在の委託内容はレベル0。

施設数（処理水量10万m³あたり）

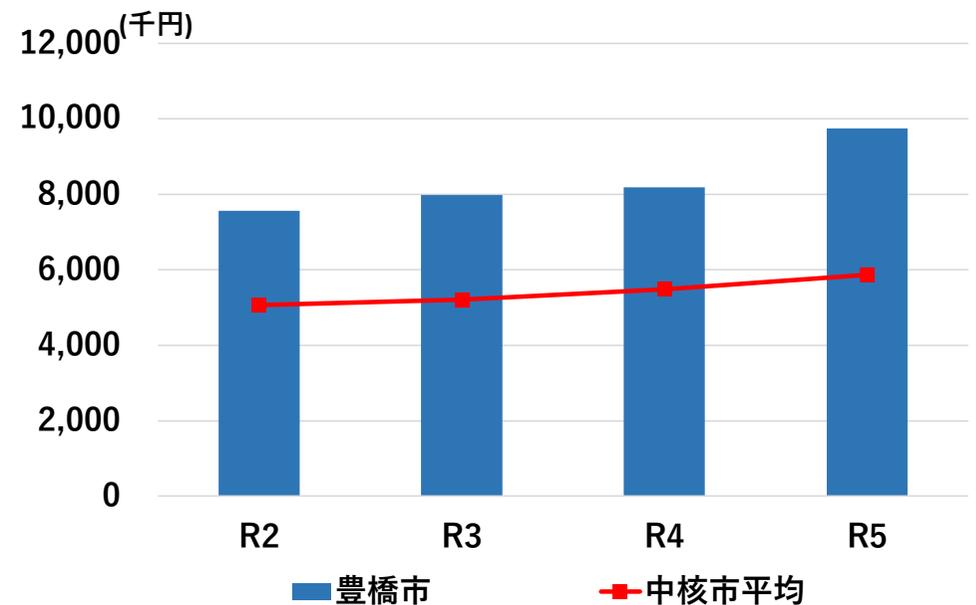


- 公営企業決算状況調査（R5決算）より。下水道事業の合計。豊橋市のし尿は除く。

施設の老朽化

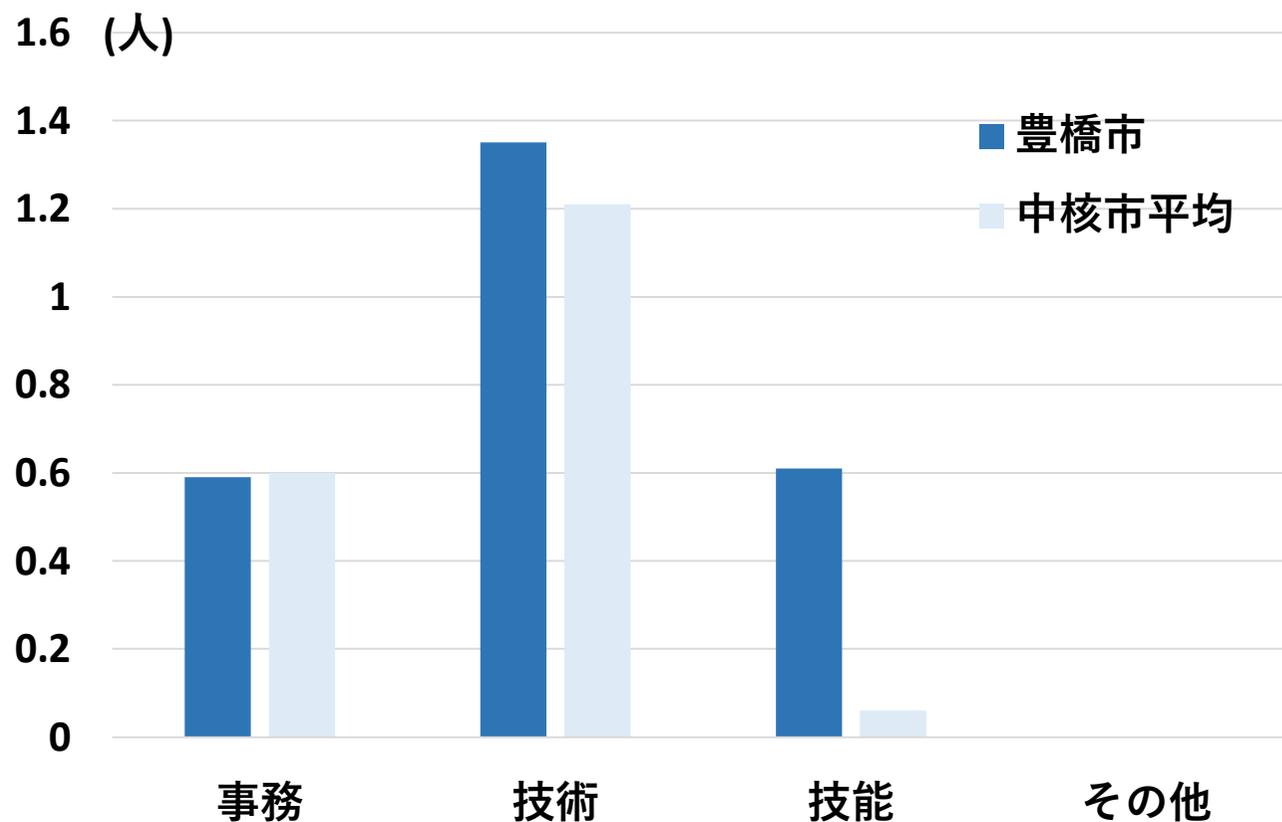


有形固定資産減価償却率



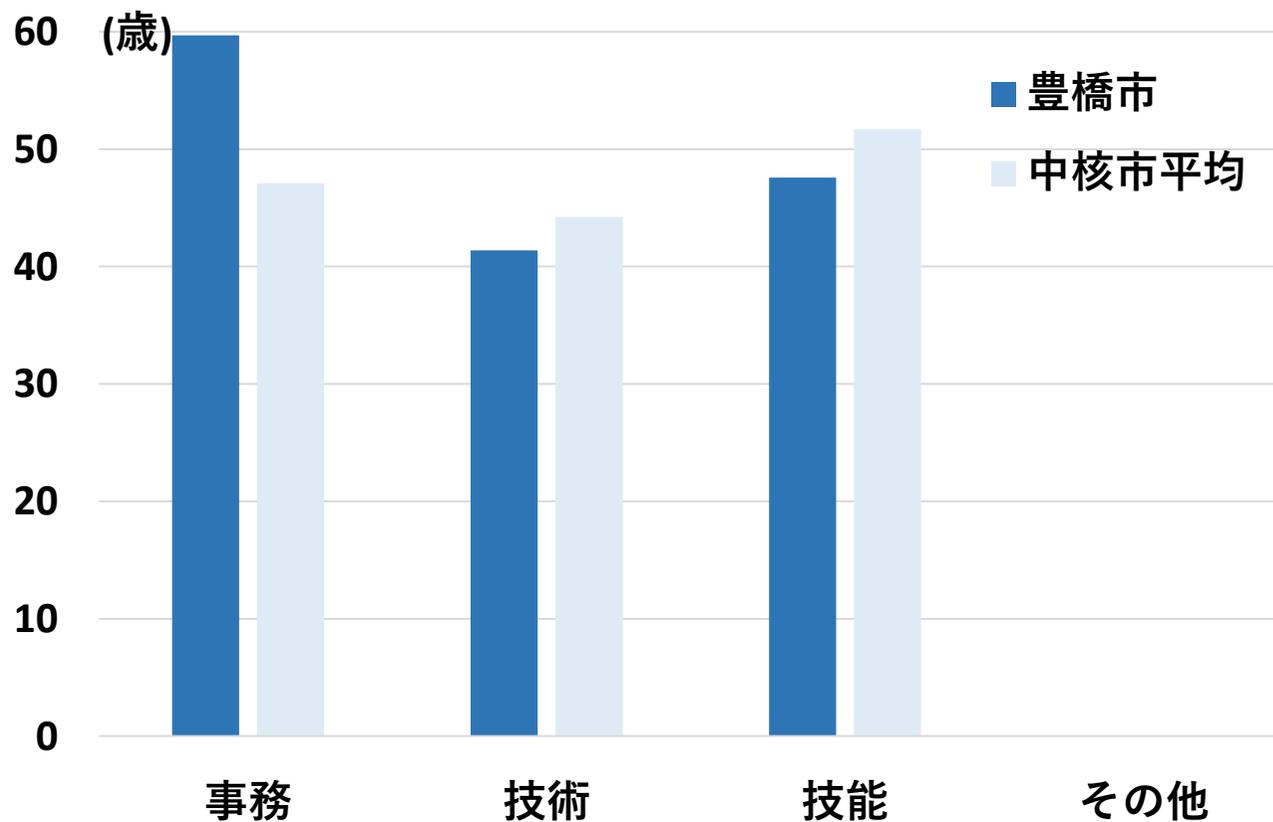
処理水量10万m³あたりの修繕費

職員数（処理水量100万m³あたり）



- 公営企業決算状況調査（R5決算）より。下水道事業の合計。豊橋市のし尿は除く。

職員平均年齢



- 公営企業決算状況調査（R5決算）より。下水道事業の合計。豊橋市のし尿は除く。

豊橋市の課題

ヒト

現時点では、他自治体よりも人数は多いものの、今後増大する建設改良に対応するためには、人材確保が必要。

モノ

- 他自治体よりも管理すべき施設数は多い。
- 施設の老朽化が進んでおり、修繕費も増加傾向。

カネ

- 令和5年度までの決算では、黒字経営であるものの、黒字幅は縮小している。
- 建設改良費は、今後も増大する見込み。

豊橋市の国補助金の状況

PPP/PFI推進アクションプラン(令和5年改定版)

民間資金等活用事業推進会議(PFI推進会議)決定(R5.6.2)

- 污水管の改築に係る国費支援に関して、緊急輸送道路等の下に埋設されている污水管の耐震化を除き、ウォーターPPP導入を決定済みであることを令和9年度以降に要件化

※ 国による支援に際し、管路を含めることを前提としつつ、民間企業の参画意向等を踏まえ、対象施設を決定する

※国土交通省資料 (P36)

豊橋市下水道事業の污水管の改築事業（管渠ストックマネジメント事業）

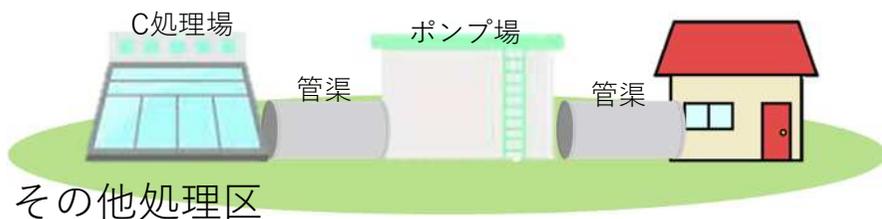
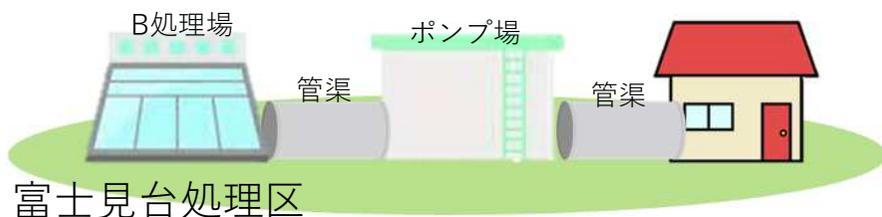
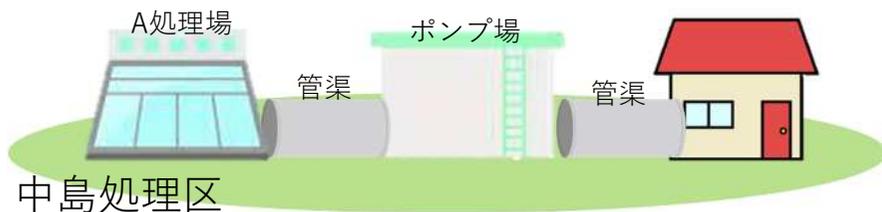
	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
事業費	3.3億	18.9億	22.2億	33.8億
国交付金	1.3億	9.0億	8.0億	12.5億

※管渠ストックマネジメント事業費

※R3~5は決算額、R6は予算額+R5→R6繰越額

※R3~5は前年度からの繰越額を含む。

導入の検討対象



レベル3.5 (更新支援型)

レベル3.5 (更新実施型)

レベル4.0 (コンセッション)

今年度は、全ての処理区、全ての方式を対象に、
豊橋市下水道事業にとって、最適な姿について検討を進めています。

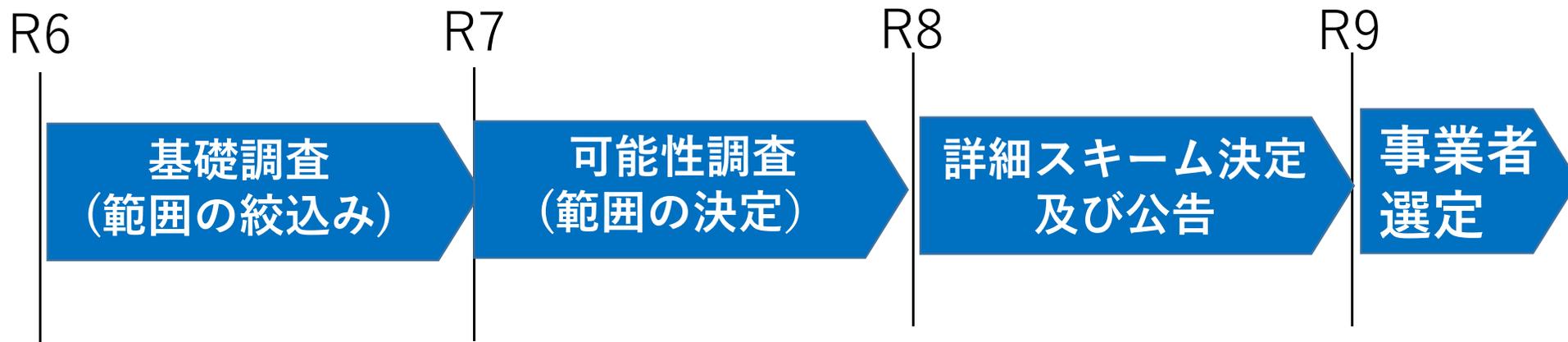
導入を前提としたスケジュールの想定

概要とポイント・留意点

交付金等要件化の概要

- 令和9年度以降に污水管改築の交付金等を受けるには、「ウォーターPPP導入を決定済み」が必要
- 「ウォーターPPP導入を決定済み」とは、レベル3.5の場合、入札・公募が開始されたこと

※国土交通省資料（P36）



ご協力よろしくお願ひします。

不明点については、豊橋市HPからお問ひ合わせください。